

平成28年度 第5回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

平成28年10月26日（水）午後1時30分～午後4時20分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階会議室

【参加者】

出席委員 谷村萬吉、西川功美、平井育子、谷口芳幸、大家繁博、谷本由美子、西村繁榮、
亀谷幸子、福山裕正 以上9名（敬称略）

関係課 （水道局）高見副局長、山根給水維持課長

事務局 田中用瀬町総合支所長、沖田副支所長、坂本産業建設課長、谷口市民福祉課長、
中村地域振興課課長補佐、金谷地域振興課主幹

傍聴者 1名

【次第】

1. 開会
2. あいさつ
3. 議題・報告事項

（1）簡易水道事業の上水道事業への統合に伴う水道料金及び維持管理体制について

（水道局 資料に基づき説明）

（委員1）

来年4月から料金改定されるということか。

（水道局）

用瀬地域につきましては、まず、来年4月1日に市の簡易水道の料金に統一されます。そのあと3年間はそのままの料金で行く考えであり、次の12月議会に3年間据え置き案を上程し、議決をいただいた場合は、3年後に上水道の料金に統一することとしております。

（委員2）

江波や屋住の地元管理の水道の料金はどうなるのか。また、簡易水道の料金から上水道

の料金となる場合、金額は安くなるのか。

(水道局)

今の地元管理の水道については、来年4月にすべて簡易水道の料金になります。

簡易水道の料金と上水道料金を比較すると、月に28m³以下の使用量の世帯は簡易水道より上水道のほうが料金が安く、月に28m³より多く使っている世帯は、上水道のほうが料金が高くなっております。

(委員3)

来年4月に簡易水道に料金を統一してから3年後に上水道料金に統一する予定とのことだが、その間に上水道料金の見直しの時期が来るのではないか。

(水道局)

資料1ページの一番下に、「今の上水道料金は次年度以降の料金改定について現在水道事業審議会において審議をしていただいております。」という一文をつけております。上水道事業は大変苦しい経営をしており、料金について見直しが必要かどうか現在審議していただいております。

(委員3)

市は現在企業誘致を推進しているので、料金見直しの審議においては、大口需要者である企業について水道料金があまり高くないよう配慮をいただきたい。

(水道局)

現在、毎月のm³当たりの料金は0-10m³については46円なのに対し、200m³以上の場合は200円と単価に大きな差があります。これをもっと近づける方向でという審議会からの意見もあり、審議をしていただいております。

(委員4)

地元での説明会の際には資料として今使っている水道料金と簡易水道、上水道の料金の3段階でお示しいただきたい。

(水道局)

支所の産業建設課と一緒に説明させていただきます。

(委員5)

別府地区はどういう取扱いになっているのか。

(水道局)

別府地区は用瀬水道の一部という扱いです。

(水道局)

これまで地元で一生懸命維持管理をされてきた水道だと思います。これから地元の方に聴き取りをしながら水道局の施設として、4月から適切に運営したいと思っています。ご協力をお願いいたします。

(会長)

水道組合と話をしながら進めていただきたい。

(2) 総合支所整備（耐震化）の推進について

(事務局が資料に基づき説明)

(事務局)

この案をお示しするに当たっては、会長、副会長との協議を3回行い、その間に事務局は財産経営課、図書館とも何回か協議を重ねております。協議の中で新たな案件も出ており、そういったことも含めてこの案をお示ししております。

(会長)

市長、副市長との協議もあったのか。

(事務局)

総務部長との協議を経て市長、副市長へ、現在の審議状況について報告し、今回お示しする案について協議をしております。

(委員4)

図書館は用瀬図書館という名前ではあるが、市南部地域の図書館という位置づけだということだが、仮に新しい図書館として用瀬地域に整備する場合、他の地域は納得しているのか。CATVの局内設備については、3地区の中でたまたま用瀬にあるということであれば、費用を全て用瀬の支所の移転の経費に含めるのは、はたして適切なのか。

(事務局)

用瀬図書館をこのまま用瀬地域に設置することについては、図書館との協議の中では特に問題はありませんでした。更新を検討する際に利用できる施設が用瀬にあればまずそれを検討することになると思いますが、用瀬に利用できる施設がないとなれば佐治、河原も含めた南部地域全体で検討することになると思われます。その場合には用瀬以外の場所になる可能性もあるということです。

(委員5)

用瀬図書館は歴史もあるし、移動図書館車の運用を考えても場所的に中心部になる。用瀬の文化の大事な拠点であり、用瀬に図書館を置いておくことは地域住民にとって大事であると思う。

(事務局)

CATVの経費については、現実的に用瀬の支所を改修するに当たって必要な金額ととらえていただきたいと思います。

(委員6)

CATVの施設はどこにあるのか。

(事務局)

支所の1階にあります。平成18年に整備して運用されております。

(委員6)

これまでの意見を考慮し、よくここまで案を整理したと思う。図書館の件や、CATVの件も含めて、少々お金がかかっても用瀬にとっていい案を選べばよいと考える。

(事務局)

これまでの協議で、協議できる内容は出尽くしてきたと思います。保健センターの活用についても、図書館の更新についても地域が以前から持っている課題であります。図書館については用瀬の地域の図書館という思いもありますし、皆さまからもそういった声をお聞きしております。今回のお示しした案は中央図書館に協議をし、図書館の判断のもとでの案であり、支所の耐震化と併せて進めていくことで検討できるのは良いことだと思っております。

図書館については、現在利用者も増えてきておりますし、こういった意向があるということをご様からの声としていただきましたので、今後協議を進めていきたいと思っております。

いきいき交流センターと保健センターを活用する案についても、いろいろ協議をした中で試算も出してもらいました。かなりの金額がかかりますし、図書館との協議の中でも合わせたの検討は難しいということも出てきました。これで考えられる案のすべてが出尽くしたと思っております。引き続き審議をお願いいたします。

(委員5)

保健センターの活用については、現在利用している社会福祉協議会などとの関係を心配しているが、考慮してあるのか。また、デイサービスセンターはどうなるのか。

(事務局)

他施設の活用については、いきいき交流センターに空いたスペースがあるということで検討を始めましたが、ふくし作業所や介護等の事業に使っている実態があり協議が必要であると考えております。今回の案については、まず施設としてそこに支所機能が移転できるのかということを検討し、支所の事務所の移転について不足すると思われる分として300㎡を増築して対応する案としております。デイサービスセンターについてはそのまま残す考えによるものです。

試算案の時点では、現在利用している社会福祉協議会と具体的な協議はまだ行っておりません。今後、この案でという方針が出れば、具体的に協議を行うこととなります。

(委員6)

地域振興会議の決めたとおりに市の方針となるとは必ずしも言えないということだと思う。前回の会議で、確実な金額が示されれば方針は決まるということを行ったが、今回の案の金額は確かなものなのか。

(事務局)

前回ご意見をいただいたときにもご回答いたしましたが、確実な金額を出すためには実施設計というものがが必要です。現在の試算はあくまで一定の基準の考え方の中で、例えば建設費の積算には参考となる基準単価などを使って算出するしかないので、この試算の中で検討いただくこととなります。

(会長)

用瀬以外の支所はすでに方針が出ている中、合併特例債を活用する期限も迫ってきており、あまり時間的な余裕がない。これまで審議を続けてきたところで、今日は皆様の意見を集約して方向性を出したいというのが、前回の会議でお願いしたところである。

私としては、他支所とのバランスも考えていければと思う。用瀬だけ突出したこともできないと思う。

(委員3)

他の支所と比べると、基本的に耐震改修か移転かという考え方の中で、用瀬だけ新築というのは難しいのではないかと思う。

(委員5)

これから高齢化社会を迎えるに当たって、現在の庁舎の耐震改修案だと2階フロアに図書館となるということだが、エレベータは整備されるとのことだが2階の図書館は使いにくいのではないか。現在の支所の場所も利便性がいいとは言えない。

(事務局)

現庁舎の場所が高い場所にあるという問題についてはこれまでもご意見をいただいております。これについては内部でも協議しており、公共交通であるバス路線の見直しが必要ではないかと思っております。例えば保健センターに行く便を増やしてほしいというような意見もいただいておりますので、実際に使われるであろう高齢者の方々の意見を聞いたうえで、例えば町内を循環できるような運行路線の見直しが出来ないか検討していきたいと考えております。皆様の声を聞かせていただき見直しをかけていくなかで、現支所の利便性も向上させたいと思います。

(委員2)

これまでの話し合いの集約がこの案となっていると思う。もともとの話から新築はないものと思わなければならないと思うので、複合施設として耐震改修するか移転するかいずれかだと思う。図書館も他の施設も一緒の方が使いやすいと思うが、建物のふさわしさで行けば現庁舎を改修したほうがいいと思う。

(委員1)

建替えて新築ということで意見が出れば検討するのか。

(事務局)

市内部での協議の中では、他支所とのバランスを考えなければならない中で用瀬だけ新築というのはどうかという意見もありましたし、用瀬地域の他の公共施設もこれから15~20年のところで更新が必要な時期を迎えることや、これからの人口の問題もあります。また、新築の場合、本当に現在の庁舎の場所でよいのかということもあと思っています。そういった様々な面を考慮すると、新築ということを進めるのは難しいと思います。

(委員1)

そうすると耐震改修案になるということか。

(事務局)

当初から既存の施設を活用するというので、現庁舎の耐震改修か他の施設の活用を検討

してきました。今回、図書館の問題も加わっており、整備には経費が掛かりますが、現庁舎の2階、3階を有効活用することができ、また、2つの施設が一緒になることにより、費用対効果の面でも有利ではないかと考えられます。

(委員1)

現庁舎は耐用年数としてはあと25年ぐらいしか持たないということだが、新築にすればかなり持つと思う。その期間の差と4億ぐらいの費用の差をどう考えるかではないのか。今は合併特例債を活用できるが、次の25年後には負担が増えるということになれば、トータルで見たら、個人的には新築建替え案のほうが良いと思う。

(事務局)

支所を耐震改修した場合20年後以降に次のことを考えねばならないですが、例えば町民会館は27年後に耐用年数を迎えます。社地区公民館、用瀬地区公民館、大村地区公民館も17年経過したら更新の時期を迎えます。これらの更新時期に合わせて用瀬町のランドデザインを検討することになると考えています。今回、支所を新築した場合には、そうした検討が難しい施設となってしまうことも考えられるわけで、今回改修費を抑え現庁舎の耐震改修を行うことで、次の20年後の世代に、より良い街づくりを検討してもらう状況を残すことが出来るのではないかと考えています。

(委員4)

耐震改修の場合、土砂災害の問題はどうか。どのようにクリアするのか。

(事務局)

現在の庁舎は、支所の一部がかかっていますが、耐震改修を行うことでほぼ影響がないと考えています。

(会長)

いろいろご意見をいただいた。一応、他の町村の状況、審議の状況を考えると、方向としては耐震改修案ということか。

(委員7)

私は案2が良いと思う。周りの若い方たちと話をして新築は必要ないと思うというのが皆さんの意見として聞いている。あるものを使えばいいと思う。

(会長)

新築は考えられないということか。

(委員7)

場所についてのこだわりはないと思う。案2であれば保育園も近くになるし、商業施設もあり利便性が高いところだと思う。現庁舎だと、最近熊の危険があり、暗いときなど歩くのもひやひやしなからである。

(会長)

方向性が決まれば、具体的な整備条件については皆さんの意見をお聞きする場を振興会議でも持たしてもらえればと思う。

(委員 2)

支所機能として保健センターと図書館が一緒になれば、便利がいいと思うが。

(事務局)

ただ図書館との協議の中でいきいき交流センターへの移転は難しいという意見をいただいております。支所機能と合わせての図書館の移転は難しいと考えています。その場合、図書館についてはそのままとし、再度検討するしかないと思われま

(委員 8)

図書館は南部の施設なので、利便性のいいところである案 2 がいいと思う。

(委員 4)

利便が高いほうがいいと思うが、他町村との釣り合いなどを考えると現庁舎はまだまだ使える施設だと思うので、案 1 でより良い整備方法を考え、25 年後にまた全体で考えていただく方がいいと思う。

(委員 6)

今の話の中で、次のことを考えた場合には、用瀬に図書館を残すということを考えても案 1 の耐震改修がいいと思う。

(委員 3)

本当は建替えがいいと思うが、20 年サイクルで考えるとやはり耐震改修化と思う。

(委員 1)

図書館は新築はダメだということだが、複合化した場合は新築というのにあたるのか。

(事務局)

今の協議はあくまで支所の耐震整備における取り扱いとしてです。

(委員 5)

図書館を残すという点では、案 2 もいいと思うが、用瀬宿を活性化することを考えると、千代川の向こうにすべてが移転するよりは、現庁舎と図書館複合化した施設として整備出来れば、そのほうがよいと思う。

(委員 2)

案 1 しかないと思う。

(会長)

本当は新築がいいということだが、諸般の状況を考えると、図書館と複合化をして現庁舎を耐震改修して、30 年、40 年でも使えるような施設としてしっかりと改修してほしいと思う。この集約でよろしいか。

(異議なしの声)

(委員3)

この検討結果は今後どのように本庁などへ示していくのか。

(事務局)

地域振興会議の集約として本庁へ伝えることとなります。また、これから3地区を回って地元説明会に出て住民からも意見も聞かせていただき、それをこの場所で確認しながら本庁へ報告していきたいと思えます。

(会長)

他の支所についても振興会議の意向というものが出ているようなので、振興会議の検討結果をどのように示していくのか確認してほしい。

(3) その他

(会長)

本日は市会議員である西村議員にもお越しいただいておりますので、紹介方々ご挨拶をいただければと存じます。

(西村議員)

(西村議員挨拶)

総合支所の整備について
鳥取県中部地震について
防災無線の機能について
中核市への移行について
市庁舎の整備について
連携中枢都市の推進について
麒麟獅子の日本文化遺産申請への取り組みについて
市議会報告会について

(委員3)

用瀬町の防災無線がかなり老朽化しているが、自治会では、屋外拡声器ではなく、現在の機能を維持した形での整備をお願いしたいと考えている。よろしくをお願いしたい。

(西村議員)

防災無線については平成31年にデジタル化ということは決まっております、そうなる情報伝達機能はなくなることである。市当局は今後の情報伝達機能について検討すると言っているので、それを受けて検討したいと思う。

4 地域振興への意見・提言（委員発表）

(今回はなし、次回岸本委員、山下委員にお願いすることで確認)

5 各課報告

事務局（資料などで説明）

地域振興課 行事予定、千代南中学校区学校公開週間、いなば用瀬さんぽ市、
県中部地震における町内の被害状況、町の人口分布について説明
市民福祉課 保育園整備事業の進捗状況について説明
産業建設課 熊への対応状況について説明

（委員5）

近隣の地域の状況はどうか。

（事務局）

熊の捕獲については佐治はなし、郡家では1頭あったと聞いております。現在、熊は柿についております。目撃情報等を早めに頂ければと思います。

6 次回日程について

開催予定日 11月17日（木） 15時
会場については、用瀬町民会館を予定

7 閉 会